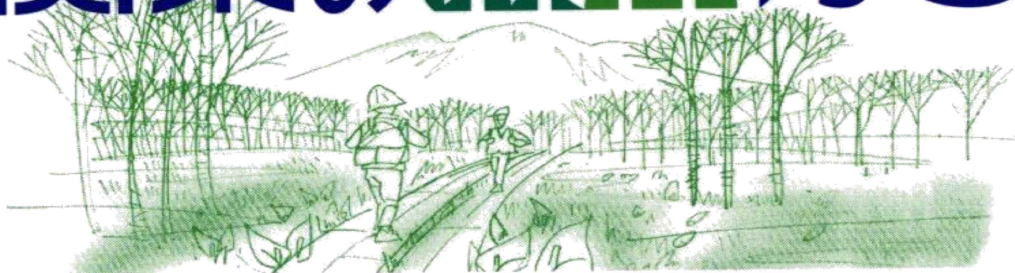


関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



「森林・林業がアートに！」（群馬県中之条町）

（撮影：関東森林管理局 吾妻森林管理署）（6ページ参照）

- ◎ 関東地方を直撃した台風19号等による森林被害 森林整備課・・・2
- ◎ 「シカ被害対策現地検討会」の開催 保全課・・・4
- ◎ 今月の表紙「森林・林業がアートに！」 吾妻森林管理署・・・6
- ◎ 令和元年度国有林間伐・再造林推進コンクール
～ 有限会社佐川運送が優秀賞を受賞～ 資源活用課・・・7
- ◎ 高尾の森から 高尾森林ふれあい推進センター・・・8
- ◎ 静岡県浜松市内の国有林で新たにFSC森林認証を取得
林業成長産業化地域構想を支援へ 天竜森林管理署・・・10
- ◎ 森づくり最前線
塩那森林管理署 那須森林事務所 森林官 笠井 富夫・・・14

関東地方を直撃した 台風19号等による森林被害

森林整備課

令和元年10月12日(土)に上陸した台風19号は、関東地方を中心に広範囲にわたり大きな被害をもたらしました。ニュース等では、堤防の決壊による河川の氾濫や道路等の崩壊など多くの被害が報じられました。国有林も例外ではなく、林地や林道で多数の被害が発生しました。台風は各地で異常な豪雨をもたら



台風により発生した崩壊地

し、生活道路にも被害が生じたため林道入口までたどりつけない状況も発生しました。山腹斜面には、中小様々な規模の崩壊が発生させ、林道においては、崩土の堆積、路肩の欠損、路面洗掘・流出、倒木等の被害が発生したことから、国有林における木材生産や造林の事業の実行にも影響し、一時的に中止したり、本年度中の実行を中止せざるを得ない状況に至った事業もあります。

台風通過後には、民有林も含め局管内で被害の大きかった地域を中心に、ヘリコプターによる上空からの調査を1都10県で行い概況を把握することはできましたが、現地調査は、公道や林道における車両通行が困難な箇所があり、多くの路線では徒歩を中心にドローン等も活用しながら被害状況の確認を行いました。

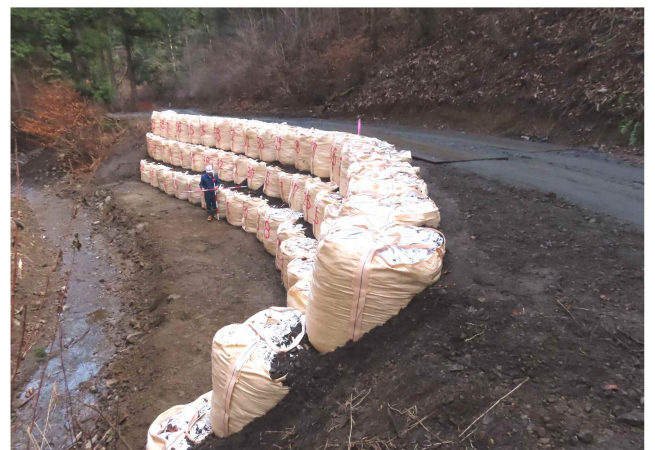
このような状況から被害調査には相当の期間を要することも予想されましたが、被害が少なかった署の応



台風により発生した崩壊地(ボランティアの方が撮影)

援を得たり、森林土木事業者の皆様による防災ボランティアのご協力もいただくことができたことから、予想よりも早い時間で調査を終了させることができました。

台風19号に先立ち被害をもたらした台風15号災害の際にも、木材生産事業者の皆様より集材用林業機械や大型チェンソーの提供を申し出ていただくなど、林業に携わっている事業者の皆様による被害直後の初期対応への御協力には大変感謝しております。国有林野に限らず山間部では



欠損した林道路肩の復旧の状況

災害現場で活動できるマンパワーは貴重であり、迅速な対応が求められる災害発生時には、特に頼りになる存在です。

今後は、地域経済の振興のためにも、休止中の各事業の再開に向けた復旧作業を急ぐ必要があります。路肩欠損等の大きな被害がでた場合には補正予算による災害復旧工事の発注を行います。今回は小規模な崩壊や洗掘等が広範囲に発生しているため、このような箇所については、主としてパワショベル等の重機による土木工事により応急的な対応を

進めているところ
です。

災害直後は市街地等の復旧が優先されましたが、国有林の林道に通じる公道も徐々に復旧が行われるようになりました。これに伴い、国有林林道の復旧も行えるようになり、現在では、通行できず事業を休止せざるを得なかった箇所
の林道の仮復旧を行っています。

今後は、こうした箇所等において本格的な改良工事を実施し、より災害に強い林道にしていかなければならないと考えています。

今回の台風は、森林に多くの爪痕を残していききました。山腹斜面や林道の復旧を的確に行い、森林のもつ



通行の遮断された道路

多面的な機能を回復させ災害に強い森林づくりを推進していくことが、私たちに課せられた課題と考
えていきます。



台風により発生した崩壊地



被災した林道（ドローンによる上空からの撮影）



被災した林道（地上より撮影）

「シカ被害対策現地検討会」の開催

保全課

関東森林管理局（以下、「関東局」という。）と森林総合研究所（以下、「森林総研」という。）は、ニホンジカによる食害が急増している中、ニホンジカ被害防止にかかる技術開発等の取組を、現場で応用してより効果的な手法を確立していくことを目的に、平成25年に「ニホンジカ被害対策に係る協定」（以下、「協定」という。）を締結し、ニホンジカ被害防止に係る技術開発や実証実験等を行い、協定締結期間の締めくくりとして、平成30年11月にシカ被害対策の成果報告会を開催しました。

また、協定締結からの5年の間にさらにニホンジカの分布域の拡大による森林被害が深刻化している実態等を踏まえ、新たな協定を締結し、引き続き取組を強化することとしました。

11月29日に、新たな協定に基づく今年度の取組として、現地検討会を関東局・日光森林管理

署（以下、「日光署」という。）、森林総研との共催で開催しました。内容は、シカの生息が少なくこれから低密度管理を行う署等を主な対象として、シカ足跡などの痕跡や食害の見方、生息状況調査の方法を学ぶものとなりました。

この内容とした背景は、令和元年6月25日に設置された「八溝山周辺国有林ニホンジカ対策協議会（シカが少なく林業が盛んな八溝山周辺でのシカの増加に伴い、早急な対策を検討するため設置）」において、生息調査の重要性が取り上げられたこと、シカの食害の見分け方などを知りたいなどの要望があったこと等から、八溝山系の周辺国有林をはじめとするシカの低密度地域はもとより、捕獲を進めている地域でも集中的・効率的に捕獲するためにシカの生息調査や被害状況把握が重要になるものと考えられたことから、検討会の内容としました。



班ごとの説明①（低密度地域）



シカ対策現地検討会セレモニー



班ごとの説明③（低密度地域）



班ごとの説明②（低密度地域）



午後の現地説明（高密度地域）



センサーカメラによる生息調査説明

検討会当日は、関東局管内の署等と八溝山系に係る福島県、栃木県、茨城県の職員を含め約70名が参加し、日光署の管内で実施しました。

午前中は、日光署管内でもシカの生息が少ない地域（低密度地域の署員等にも分かりやすいシカ被害状況の現地）で、日光署から現地概要説明の後、3班に分かれて森林総研の研究者によるシカの食害や痕跡の見方等の実習を行いました。

午後からは、日光署管内のシカの生息が多い地域で、シカ柵設置区域と単木防除区域が隣接する現地で、シカ柵内では下層植生が残り、単木防除区域では下層植生がほとんどなくシカの影響が顕著な状況となっていることを確認しました。その後、センサーカメラによる生息調査手法等の実習を行いました。

全体で「シカ情報マップ」について質疑応答を行い、森林総研の領域長等から全体総括をいただき検討会を終了しました。

参加者からは、シカの嗜好植物や忌避植物の種類、ニホンジカとカモシカの痕跡の見分け方やシカとクマの皮剥の見分け方、センサーカメラの感度設定やデー

タ比較、シカ踏まえたポイの設置など、ラトなどの生息調査や被害状況把握に重要な質問等が多くなる。され、参加者の意識が高くなる。が、かえり、検討会となり、今後の検討を通じ、研修等を通じて、シカ対策に関する向上し、つ、地域の関係者と連携を密にしてシカ対策に取組みたい。と考えていきたい。

きのこ特集



ウラグロニガイグチ



(仮称) ニセウラグロニガイグチ

毒きのこにされた食用きのこ

昔は食用きのこだったけど、何時からか毒きのこになったのか「ウラグロニガイグチ」は、昔は中毒などしない美味しいきのこでした。

ある時、「ウラグロニガイグチ」と違うきのこを食べ「ウラグロニガイグチを食べて中毒した。」と言ったため、ウラグロニガイグチが毒きのこ扱いになってしまいました。実際は食用きのこです。

良く似たきのこで同じ時期に、オオシラビソ、モミ、ツガなどの深山の針葉樹の樹下に発生し、管孔の色がこげ茶色から黄土褐色のきのこがあります。こちらが毒きのこで「(仮称) ニセウラグロニガイグチ」です。

ウラグロニガイグチ (食用)
(イグチ科ニガイグチ属)

6月下旬から9月下旬ブナ科の樹下に単生から散生します。カサは5cmから9cmで茶褐色から暗赤褐色で表面はピロード状で湿っている時多少の粘性があり、柄は6cmから9cmで灰紫色の字に紫褐色の細かい粒点があります。管孔は柄に湾生し黒色で、肉は傷付くとわずかに赤く変わります。

今月の表紙

「森林・林業がアートに！」 一見事な「はい※山」の紹介（群馬県中之条町）

昨年度、四万温泉に向かう国道沿いに開設した寺社平山元土場があります。

この土場は、民有地を借りて作設した土場で、請負事業者が林内で生産した丸太を、トラック運材者が運搬、はい付けを行っています。そのはい付けは、熟練した技術と熟慮した丸太の配置により「整然としたはい山」を形作っています。



寺社平山元土場

このはい山は、中之条町長から『「まさに、芸術!! 中之条町ビエンナーレ」ですね』との評価をいただきました。

下の写真は、林地から林道脇に集積される丸太、土場でのはい付け作業、販売された丸太が運搬されて行く模様となります。

※「はい」（「樺」、「はえ」ともいう。）は、丸太を同じ樹種や同じ長さごとに仕分けし積み上げたもの。
はいをつくることを「はい付け」ともいう。



林地から運んできた丸太を高田山林道沿いに集積している様子



寺社平山元土場でのはい付け作業の様子



赤川山元土場からトレーラーで丸太を運び出す様子

令和元年度国有林間伐・再造林推進コンクール ～ 有限会社佐川運送が優秀賞を受賞 ～

資源活用課

今年度の国有林間伐・再造林推進コンクールにおいて、関東森林管理局が推薦した有限会社佐川運送(茨城県高萩市)が優秀賞を受賞しましたので、その取組を紹介します。

このコンクールは、国有林野事業で実施した間伐、主伐・再造林及び立木販売において、法令の遵守、安全の確保及び担い手の育成に積極的に取り組むとともに、高い生産性等を達成した優れた事例を表彰するものです。

有限会社佐川運送の取組

生産から造林の一括事業における、高性能林業機械を有効活用した生産性の向上とD材の搬出による地拵えの低コスト化

- フェラーバンチャ付きグラップルバケットによる森林作業道開設の効率化
 - 高性能林業機械を最大限に活用するための路網の配置
 - D材(タンコロ等)の搬出による地拵え作業の効率化及び利用率の向上
- 等に取り組むことで、生産性の向上、低コスト化を実現



フェラーバンチャ付きグラップルバケットによる森林作業道開設

作業システム・生産性・生産コスト

○作業システム: 森林作業道を高密度に配置(路網密度200m/ha以上)することで、素材生産における木寄せ作業を効率化するとともに、地拵え作業においてフェラーバンチャ付きグラップルバケット等の作業可能面積が増加し、機械稼働率が向上。

○生産性: 18.0㎡/人日 ○生産コスト: 5,000円/㎡

作業システムと工程別生産性

	森林作業道	伐倒	木寄せ集材	造材	集搬
使用機械	フェラーバンチャ付きグラップルバケット	チェーンソー	グラップル	ハーベスタ	フォワーダ・グラップル
人員配置	1人	2人	1人	1人	1人
生産性(㎡/人日)	-	80	90	80	88

安全確保の取組・環境配慮・担い手の育成等

- 安全確保の取組: フェラーバンチャ付きグラップルバケットの導入により、路網作設時の人力伐倒による労働災害のリスクを排除。
- 環境配慮: 林内に木杭を打ち、枝条等を集積することで、崩落・沢への流出を防止するとともに、作業道作設箇所に水切りを行い、濁水流出・路面洗掘を防止。
- 担い手の育成等: 緑の雇用等の研修への参加及び各種資格の受講を推進。

事業個所の概要※単木材積、林地傾斜は平均値

- 所在: 茨城森林管理署管内 山部山国有林(茨城県日立市)
- 主要樹種(林齢): スギ、ヒノキ(55年生)
- 伐採面積: 4.75ha
- 伐区概要: 本数 1,039本/ha、蓄積 539㎡/ha
- 単木材積: 0.52㎡/本(平均胸高直径 28cm、樹高 20m)
- 林地傾斜: 20度

伐採の概要

- 伐採方法: 主伐、皆伐
- 伐採立木材積: 2,560㎡ (539㎡/ha)
- 素材生産材積: 2,158㎡ (454㎡/ha)
- 利用率: 84% ●平均集材距離: 230m

再造林の概要

- 地拵え: 全刈
- 植付: 植付本数: 2,000本/ha、苗木: スギ(コンテナ苗)

販路の概要

茨城県内市場を始め、県外の製材工場等へ柱・土台用等の一般材を販売。D材は、県内のバイオマス発電所へ販売。



D材(タンコロ)の集積



フェラーバンチャ付きグラップルバケットによる地拵え作業



グラップル及びフォワーダによるD材の搬出

高尾の森から

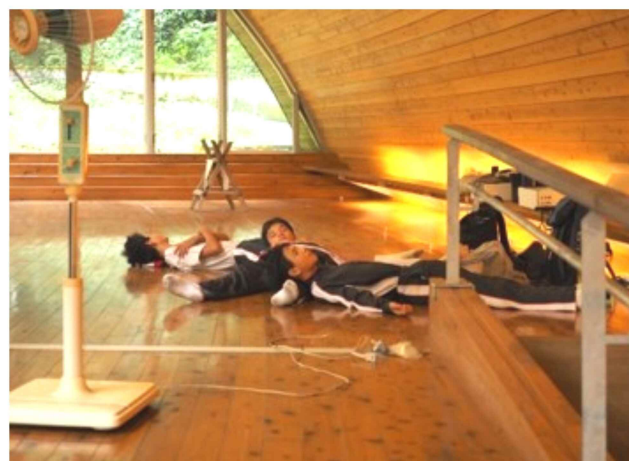
今回は、中学生を対象に実施している「職場体験」を紹介します。高尾森林ふれあい推進センターでは、毎年、学校からの要請に応じて、1日から3日間の期間で、間伐、林道・歩道の草刈り、薪割り、センサーカメラのデータ回収等の体験や「森林・林業の現状」等の講義を実施しています。実施した写真と体験した感想を少しだけ紹介します。

① 8 / 29

江東区立深川第八中学校
2年生3名+先生1名



急傾斜地で石がゴロゴロあって踏ん張りがきかないので、足元をしっかりと固定して伐採します。



間伐作業で疲れた体を休憩時間で癒やします。

感想

- ◎ 職場体験をするならば、最初から森林関連にしようと思っていました。
- ◎ 実際に森林に行くと自然の壮大さを感じつつも大変でした。でもその疲れが吹き飛ばすくらい楽しかったです。
- ◎ 高尾山での間伐など人生で一度かという貴重な体験をさせていただき、また、新しいことにチャレンジしてみようという気持ちになりました。
- ◎ 林業の体験をさせていただき、疲れたけどやりがいを感じました。



森林の働きや林業の現状の講義を受けました。



刃研ぎの先生の指導を受けてこわごわ刃研ぎをしています。

② 9 / 5 ~ 7

八王子市立横山中学校
2年生3名

感想

- ◎ 森林について授業を受け、知らないことがたくさんあって、心なしか、少し頭が良くなった気がした。
- ◎ 今回の体験を活かし、自分の将来について考えていきたいです。
- ◎ 一生に一度できるかできないかの体験ができて良かった。さらに職場の大変さや、やりがいを学び本当に良かった。

③ 10 / 30 ~ 11 / 1

八王子市立恩方中学校
2年生3名



間伐材を道路に出すのも大変でした。

色々な作業をご用意していますので、参加する学校をお待ちしています。

43 / 5 ~ 6
八王子市立ひよどり山中学校
1 ~ 3年生

※これからの予定

- 感想
 - ◎ 3日間とんでもなく疲れたので、明日はゆっくり休みたい。
 - ◎ もう一回間伐をやりたかった。
 - ◎ 急傾斜地で落ちたら死ぬかと思った。死ななくてよかった。



クラフト体験の手伝いをした後のクラフトづくりです。

募集

国有林モニター

企画調整課

関東森林管理局では、国有林野事業の運営等について国民の皆様にご理解いただくとともに、ご意見・ご要望等をお聞きし、国有林野の管理経営に役立てていくため、「国有林モニター」を募集します。

国有林モニターの皆様には、国有林の広報誌などを定期的にお送りし、アンケートに回答いただきます。また、年1回、国有林モニター会議・現地視察への出席等をお願いいたします。

募集人数は70名程度、依頼期間は令和2年4月から2年間です。

【応募資格】

福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県及び静岡県にお住まいの国有林野事業に関心のある20歳以上（令和2年4月1日時点）の方（国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長及び常勤の国家公務員は除きます。）

【応募方法】

必要事項を記入の上、郵便はがき又はFAXにて、下記の申込み先までご応募ください。関東森林管理局ホームページからも応募できます。

【必要事項】

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 性別
- ③ 生年月日
- ④ 住所（郵便番号）
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 職業
- ⑦ 国有林モニター募集を知ったきっかけ
- ⑧ 国有林モニターに応募する理由

【応募期限】

令和2年2月25日（当日必着）

【申込み先・問合せ先】

〒371-8508
群馬県前橋市岩神町4-16-25
関東森林管理局（企画調整課内）
国有林モニター担当係

TEL..027-(210)-1150
TEL..027-(210)-1154
FAX..027-(210)-1154

※詳細は「関東森林管理局ホームページ」をご覧ください。



(<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kikaku/kuyurinmonita.html>)

静岡県浜松市内の国有林で 新たにFSC森林認証を取得 林業成長産業化地域構想を支援へ

天竜森林管理署

関東森林管理局では、公益重視の管理経営を推進しつつ、林業の成長産業化に貢献するため、共同施業団地の設定、民有林材との協調出荷、生産性向上に関する現地検討会の開催等、管内各地において様々な取組を推進しています。

それら取組の一環として、今般、天竜森林管理署において、浜松市のFSC森林認証を軸とした林業成長産業化地域構想を支援するため、浜松市天竜区春野町内の国有林約3,000haを新たに認証林に追加しました。これにより、地域の認証林面積は約48,500haとなります。

浜松市では、平成18年度に策定した森林・林業ビジョンにおいて、FSC森林認証の取得を推進し、天竜材のブランド化により他地域との差別化等を図ることを掲げました。その後、同市の認証面積は年々増加し、現在では、民有林の5割以上が認証を取得し、市町村別認証取得面積は全国1位、関係する森林所有者数は8千人にのぼります。

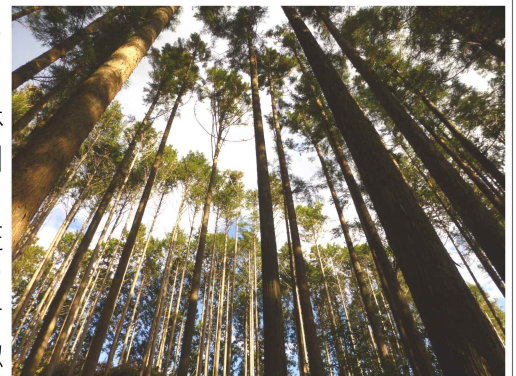
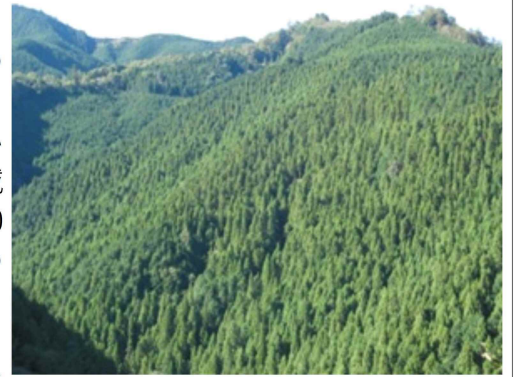
また、素材生産業者、製材・加工業者等によるCOC認証取得も80事業体に及び、全国で最もFSCサプライチェーンが構築されている地域の一つとなっています。併せて、市長のトップセールスをはじめ、官民が一体となって森林認証による天竜材のブランド化に積極的に取り組み、地産地消はもとより全国屈指のFSC認証材供給能力を発揮し、県外・国外への「地産外商」の推進等による林業の成長産業化を図っています。最近では、東京オリンピック・パラリンピック関連施設に天竜のFSC認証材が提供されるなど、認証材需要は今後も高まることが予想されます。

一方、近年では、豪雨災害時に認証材の供給量不足に陥るなど、認証林面積の拡大による安定供給体制の整備が課題となっているところです。

天竜森林管理署では、その様な地域の課題に対応するとともに、地域の一員として天竜美林の多面的機能の維持拡大と浜松市の林業成長産業化地域構想を支援するため、関東森林管理局計画課と連携し、国有林の森林認証の追加取得に向けた検討を行いました。その結果、同市の森林認証を軸とした林業成長産業化地域構想の実現に向けた取組状況等を踏まえ、浜松市における国有林の森林認証追加取得は、国有林の地域貢献の観点から有効な手段との判断に至り、1月28日に開催された天竜林材業振興協議会臨時総会において、国有林約3,000haの認証を追加取得しました。

このことにより、これまで課題となっていた認証材の安定供給体制の整備を含め、これまで以上に地域に貢献することが可能となります。

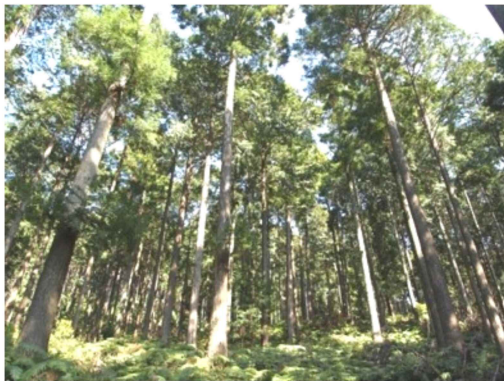
天竜森林管理署では、引き続き浜松市・関東森林管理局・地域の関係者と連携し、FSC森林認証を通じた天竜材の他産地との差別化、高付加価値化等を図り、天竜材の需要拡大、ひいては浜松市から林業の成長産業化を実現すべく努めてまいります。



浜松市の認証林位置図を前に、意見交換を行う鈴木康友市長(左から2人目)と齋藤局長(左から1人目)

浜松市におけるFSC森林認証の概要

- ①平成22年3月にFSC森林認証を取得（国、県、市、市内6森林組合によるグループ認証）。
- ②森林組合が連携して森林認証を取得するのは全国初の事例。
- ③流域全体で認証取得を推進しており、市町村別認証取得面積は全国1位、関係森林所有者数は約8,000人。
- ④素材生産業者、製材・加工業者・建築業者等によるCOC認証取得事業者は約80事業者となっており、流通量の大半をFSC認証材が占めるなど、全国で最もFSCサプライチェーンが構築されている地域のひとつ。
- ⑤全国で初めて木材利用方針にFSC認証材の使用をルール化。
- ⑥林野庁の林業成長産業化創出地域モデル事業により、平成29年度から、森林認証を核とした林業成長産業化モデル地域に認定。

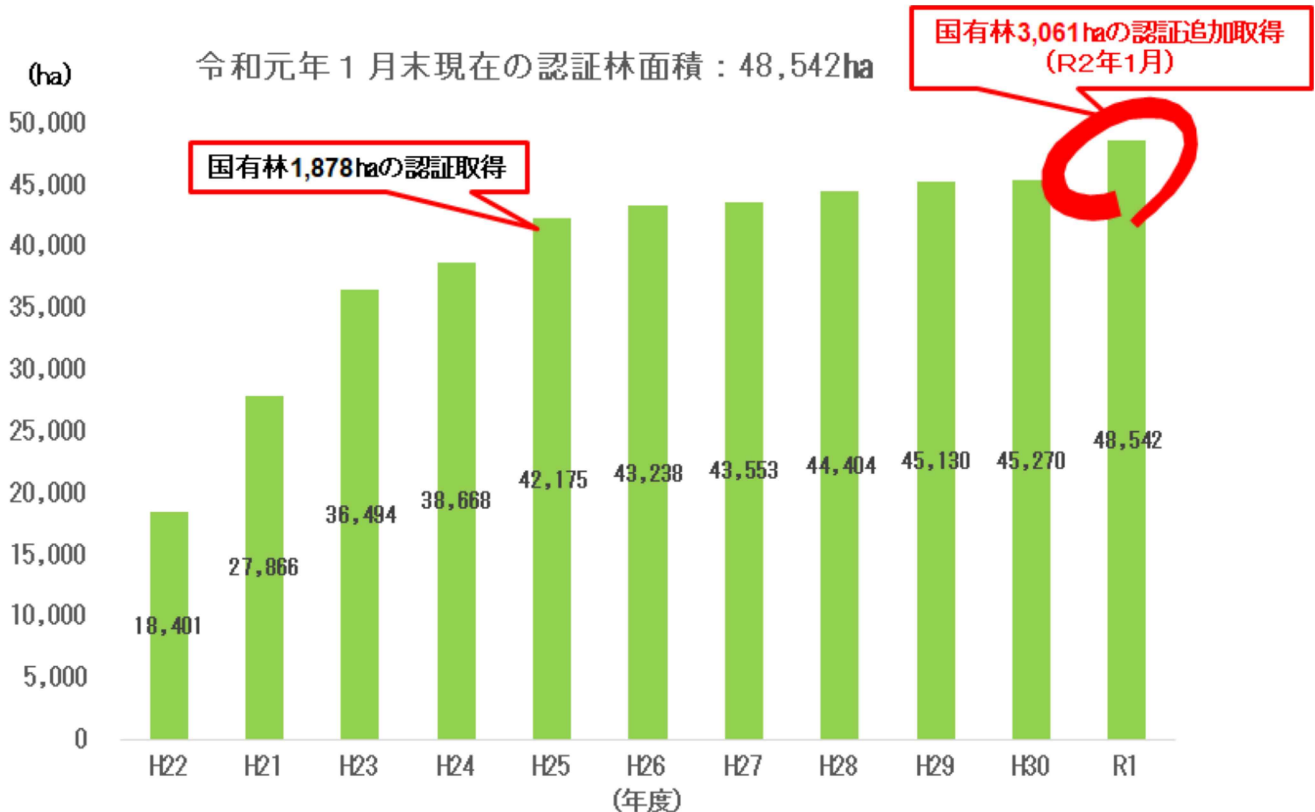


【浜松市内のFSC森林】



【FSC認証材(丸太と製品)】

浜松市におけるFSC森林認証面積の推移



浜松市におけるFSC森林認証面積の内訳

(令和2年1月28日現在)

森林組合名	森林面積 (ha)	FSC認証林 面積 (ha)	認証林取得 割合 (%)	FSC認証林 想定蓄積量
天 竜	14,933	13,835	93%	4,281,614
春 野	23,191	13,385	58%	4,006,822
佐久間	15,405	4,416	29%	1,478,032
水 窪	26,163	3,422	13%	942,984
龍 山	6,593	4,332	66%	1,807,189
引 佐	8,594	2,383	28%	618,783
その他	7,649			
市有林		641		23,731
県有林		1,189		233,238
国有林		4,939		1,264,912
計	102,528	48,542	47%	14,657,305

※「その他」は、旧浜松市、旧浜北市、旧舞阪町、旧雄踏町、旧細江町、旧三ヶ日町

※市・県・国有林の森林面積は、各管内の森林組合の面積に含む

FSC森林認証制度の概要

- 「森林が適切に管理されているか」を、**第三者機関が全世界統一の基準に沿って審査、認証**するもの
- それらの森林から生産された木材・木材製品へ認証ラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて持続可能な森林経営を支援する制度
- 違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ効果的な仕組み

※ FSC (Forest Stewardship Council : 森林管理協議会)

※ FSC本部 : ドイツ ボン

認証の種類

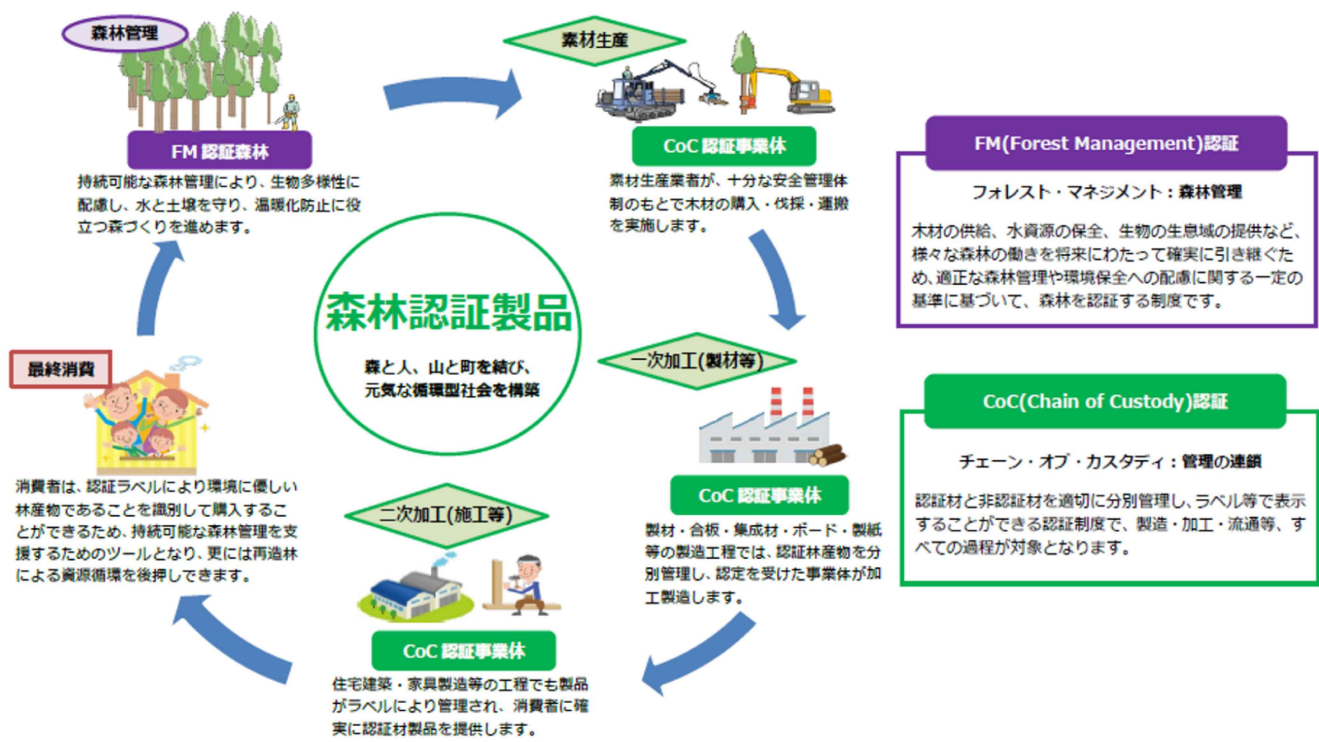
- FM (Forest management) 認証 / 森林管理が対象
- COC (Chain of Custody) 認証 / 加工・流通・工務店等が対象
- ※ FSC取得状況 (2018. 4. 26現在)
 - ・ FM認証 : 1, 553件 / 199百万ha 【国内35件 / 402千ha】
(認証面積が多い国は、カナダ、ロシア、アメリカ、スウェーデンなど、ヨーロッパや北アメリカでの取組が進んでいる)
 - ・ COC認証 : 33, 814件 【国内1, 329件】
(COC取得数は、中国、アメリカ、イギリス、ドイツ、イタリア、ポーランド、オランダ、ブラジルについて日本は世界で9位)



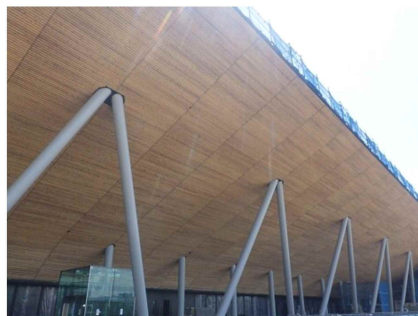
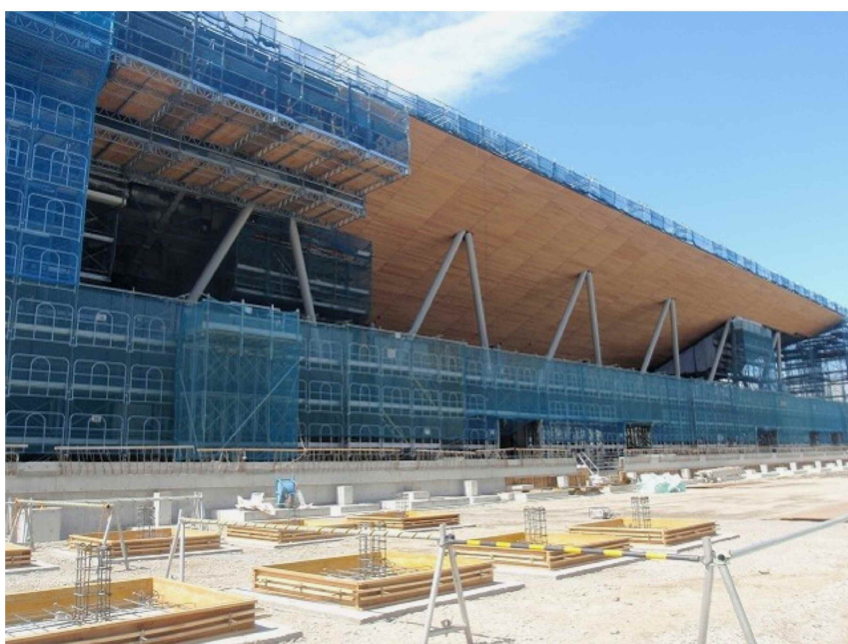
責任ある森林管理
のマーク

森林認証制度について

森林認証制度は、適正に管理された認証森林から生産される木材等を生産・流通・加工程でラベルを付すなどして分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購入を通じて持続的な森林経営を支援する仕組みです。これにより、森林・林業の成長産業化に寄与し、地域振興や資源循環型の社会の実現を目指すことができます。



東京オリンピック・パラリンピック関連施設への天竜材(FSC認証材)の使用



〔 建設中の有明体操競技場 〕

- 主な木材使用箇所は、大梁（約1,500㎡）と外装材等（約800㎡）。
- 外装材は浜松市を含む3地域が納材し、浜松市が約426㎡を納材しトップシェア。

森づくり最前線

塩那森林管理署 那須森林事務所
森林官 笠井 富夫



日本百名山の一つ「茶臼岳」

私の勤務する那須森林事務所は、栃木県北西部、那須塩原市のJR黒磯駅より徒歩5分、近くには大型スーパーもある便利な環境に位置し、栃木県那須町と那須塩原市に広がる国有林約16,800haを管理しています。

管内には日本百名山の一つ茶臼岳を中心とする那須五峰があり、茶臼岳には山麓から9合目までロープウェイが整備され、誰でも気軽に登山を楽しむことができます。また、茶臼岳の東側にある中大倉山には日本最大級のゴヨウツツジの群生地があるなど、四季を通じて多くの人々が訪れます。

また、里山として那須高原



地上からの薬剤散布



森林浴1万歩!?!の森

へ向かう那須街道沿いの約2キロにわたりアカマツ林(旧御料林)が広がり、林内には「森林浴1万歩!?!の森」と名付けられた遊歩道が整備されています。この森はオオタカなど猛



アカマツのコンテナ苗

禽類の生息地として、アカマツの遺伝資源として重要であることから松くい虫の被害防止のため地上から薬剤を散布しています。それでも枯れてしまったアカマツは被害を拡大させないために伐採をし、その跡地にはアカマツコンテナ苗の植樹等を各種ボランティア団体の方々と協力して行っています。

このほか、私は宮内庁職員として併任発令をされており、那須山麓に広がる約660haの那須御用邸附属林の管理にも携わっています。

このように、当事務所は人工林の割合は極めて低い(約5%)ですが、他の森林事務所よりも対外的な対応や貸付事務が多いことが特徴です。



私自身、定年間近の平成30年10月に森林官となり、今までにない刺激と体験が新鮮でアツと言う間に1年4ヶ月が過ぎました。退職まであとわずかですが、那須街道アカマツ林(101林班)を子供達にいつまでも残していけるよう、アカマツコンテナ苗を定期的に植樹出来ないか思考錯誤しています。



敬宮殿下御誕生記念の森(101林班内)

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393